

1. 'egs5job.exe'は、内部コマンド又は外部コマンド

操作可能なプログラムまたはバッチファイルとして認識されていません。

対応 1 : **g77setup.bat** が行われていない。

DOS プロンプトを開いた時には、**g77setup.bat** を実行する必要がある。

一度行えば、開いている限り、再度行う必要はないが、閉じた後、開いた場合は必要、

対応 2 : **Fortran** のコンパイルエラー

egs5job.err を見る

エラーメッセージが書かれているので、指摘された行を調べる。

よくある間違い

(1) common 文等で、継続行の前の”,”を忘れる。

```
real*8                                ! Local variables
```

```
* availke,tnum,wtin,wtsum,xi0,yi0,zi0
```

に変数を追加する時、esbin(MXEBIN)の後に','を忘れる

```
real*8                                ! Local variables
```

```
* availke,tnum,wtin,wtsum,xi0,yi0,zi0,esbin(MXEBIN)
```

```
* spg(MXEBIN),spe(MXEBIN),espdf(MXEBIN),escdf(MXEBIN)
```

(2) 継続行の印は“6 カラムに”、実行文は“7 カラム”以降に

2. コンパイルエラーがなく実行できたのに、egs5job.out を見ると、

```
PEGS5-call comes next
```

の後に、何も出力されていない。

対応 : **pegs5** の入力データに問題がある場合が多いので、**pgs5job.pegs5lst** の最後の行を見る。

例 : “EOF”の前に、空行が入っていた場合、最後から 6 行目の **OPT =** の後がブランクで、最後の行に

```
Stopped in peps5 because namelist/INP/ data was missing.
```